

平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書の公表における

教育長コメント（3月13日）

- 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を詳細に分析し、北海道版結果報告書として取りまとめました。

本報告書は、実技に関する調査と質問紙調査の結果を多角的な視点から分析し、成果と課題を示すとともに、教育委員会や学校等における体力向上の取組の参考となるよう、課題解決に向けた具体的な実践例を掲載しています。

- 本道の状況は、全国と比較して、各種目の得点を合計した体力合計点の差が縮まるなど改善の傾向が見られますが、体育授業において設定した目標や振り返りが子どもたちに十分意識されていないことや、運動習慣が十分身に付いていないなどの状況が見られることから、子どもたちが運動やスポーツの楽しさを味わい、自分の成長を実感したり、達成感を得たりすることができる体育授業の充実や、子どもたちが継続的に運動に取り組むことができる機会の創出など、更なる授業改善と運動習慣の定着に向けた取組が必要であると考えています。

- 道教委としては、本道の子どもたち一人一人に、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育むとともに、引き続き、学校、家庭、地域、行政が一体となった体力向上に向けた取組を推進してまいります。

教育関係者や保護者の方々はもとより、広く道民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。